



Title	北海道大学経済学部教官 研究業績一覧(昭和51年度)
Citation	北海道大学 経済学研究, 27(2), 215-217
Issue Date	1977-05
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/31391
Type	bulletin (other)
File Information	27(2)_P215-217.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学経済学部教官 研究業績一覧

(昭和51年度)

《著 書》

- 石坂昭雄・船山栄一・宮野啓二・諸田 実 『西洋経済史』(有斐閣 1976年8月)
小林好宏 『寡占企業の行動分析』(改訂版)(春秋社 1976年6月)
『価格と市場の経済学』(上野裕也と共編)(有斐閣 1976年12月)

《論文・研究ノート等》

- 荒又重雄 「ナロードニキ主義とマルクス主義」(ナウカ社『窓』16号 1976年4月)
「現時点における方法的反省の意義」(社会政策学会年報第20集『労働問題研究の方法』 1976年5月)
「マルクス『賃労働と資本』を読む人へ」(『経済』No. 146, 1976年6月)
「帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析(第5報)」(北海道大学『経済学研究』第26巻第2号 1976年6月)
「森杲著『アメリカ資本主義史論』」(《Economic Frontier》第4号 1976年9月)
「現代婦人労働と労働力の価値」(『賃金と社会保障』No. 708, 1976年10月)
「富と福祉の概念」(札幌唯物論研究会『唯物論』No. 25, 1977年2月)
「いかにスミスを読むべきではないか」(『賃金と社会保障』No. 718, 1977年3月)
- 林 善 茂 「アタネ(アイヌ燕)考」(『北方文化研究』第10号 1976年10月)
「北方文化の旗手・北海道史の父・高倉新一郎」(北海道総務部知事室編『受賞に輝く人々』(昭和51年) 1977年3月 所収)
- 日南田 静 真 Russian Capitalism and its Agrarian Structure ("Otrabotki" System)
Part I. Basic Courses of Development of Russian Capitalism
(《Hokudai Economic Papers》Vol. V, October 1976)
「S. パールマンのロシア革命・農民運動論」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 今 泉 佳 久 「世代間再分配としての年金」(厚生省年金局『年金時報』第31号 1976年6月)
- 石 坂 昭 雄 「16世紀におけるネーデルラント・プロテスタントのドイツ散住——その経済史的概観——」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)

- 鎌田正三 「アメリカ企業金融史考 (1) — 19世紀終末～20世紀初頭のトラスト金融 —」(北海道大学『経済学研究』第26巻第2号 1976年6月)
「アメリカ企業金融史考 (2) — 19世紀終末～20世紀初頭のトラスト金融 —」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
- 唐渡興宣 「資本蓄積と信用」(北海道大学『経済学研究』第26巻第2号 1976年6月)
「世界市場における競争と価値法則」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
- 小林好宏 「北海道開発のあり方」(北海道東北開発公庫『調査月報』No. 28, 1976年6月)
「参入障壁」(荒憲治郎他編『経済学』3 産業組織論 有斐閣 1976年6月 所収)
「企業集団と産業組織 (1)」(北海道大学『経済学研究』第26巻第3号 1976年8月)
The Implication of Profit or Utility Maximization in Firm's Behavior (《Hokudai Economic Papers》Vol. V, October 1976)
「企業集団と産業組織 (2)」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
「現代寡占と物価問題」(『経済評論』1976年12月号)
「企業集団と産業組織 — 再論 —」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 是永純弘 「社会科学としての統計学の課題」(経済統計研究会編『社会科学としての統計学 — 日本における成果と展望』産業統計研究社 1976年8月 所収)
- 黒田重雄 「国民所得の変動と成長」(保坂・安井編『例解近代経済学講義 (1) マクロ経済学』有斐閣 1976年11月 所収)
- 真野脩 「最近の欧州における労使関係の諸問題」(《Economic Frontier》第3号 1976年7月)
Social Responsibility of the Firm — One Development of Barnard's Theory — (《Hokudai Economic Papers》Vol. V, October 1976)
「バーナードにおける組織」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 松本源太郎 Developments in the Theory of Monopolistic Competition (《Hokudai Economic Papers》Vol. V, October 1976)
- 嶺野修 「コミンテルンと世界経済論 (2)」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 森 泉 「企業形態としての株式会社」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4

- 号 1976年11月)
- 「合名一合資一株式会社の論理——大塚久雄『株式会社発生史論』の場合——」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 長岡新吉 「「ブチ・帝国主義」論争について」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 中村通義 「株式会社と自己金融・再論」(北海道大学『経済学研究』第26巻第3号 1976年8月)
- 「株式会社と平均利潤」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 酒井一夫 「管理通貨制のもとの流通法則」(北海道大学『経済学研究』第26巻第3号 1976年8月)
- 酒井徹 Investment Behavior of the Firm and Disequilibrium Theory (《Hokudai Economic Papers》 Vol. V, October 1976)
- 白井孝昌 「価格理論」(大谷龍造・斎藤謹造共編『現代経済学研究案内』有斐閣 1976年6月 所収)
- 外山忠 「資本輸出と国際独占体——レーニンの把握について——」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
- 菅原秀人 「会計方法の多様性にかんする検討 (1)」(日本会計学会『会計』第111巻第2号 1977年2月)
- 「会計方法の多様性にかんする検討 (2)」(日本会計学会『会計』第111巻第3号 1977年3月)
- 所哲也 Economic Growth and International Trade (2) —Rybczynski Line and Engel Line — (《Hokudai Economic Papers》 Vol. V, October 1976)
- 富森虔児 「現代資本主義化の諸相——アメリカとフランス——」(北海道大学『経済学研究』第27巻第1号 1977年3月)
- 内田一夫 「可変的労働供給と一般均衡モデル」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
- 上野昌美 「ネップ初期の《缺状差》をめぐる党内論争——第13回党協議会を中心に——」(北海道大学『経済学研究』第26巻第4号 1976年11月)
- 八鍬幸信 「情報管理論の視角を求めて」(北海道大学『経済学研究』第26巻第2号 1976年6月)

《翻 訳》

- 白井孝昌・熊谷尚夫・西山千明 「M・フリードマン『資本主義と自由』」Milton Friedman, *Capitalism and Freedom*, the University of Chicago Press, 1962. (マダロウヒル好学社 1975年11月)

(掲載はアルファベット順)